

社会資本整備総合交付金 事後評価シート

飯山市公園施設長寿命化計画

平成27年3月

長野県飯山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	飯山市	地区名		面積	26.4ha
交付期間	平成25年度～25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	4百万円	国費率	0.5

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名				
	基幹事業	公園施設長寿命化計画策定事業					
	提案事業	なし					
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				
交付期間の変更	当初	平成25年度～25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				
	変更	なし					

2)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	長寿命化計画策定済みの都市公園数	%	0 H24	100 H25		100	○	あり なし	基幹事業の実施により、平成25年度に全6都市公園の長寿命化計画の策定がされた。	
	指標2	長寿命化計画に基づく再整備済み都市公園数	%	0 H24	100 H28		50	△	あり なし	都市再生整備計画事業及び都市公園施設整備事業によって事業の着手や計画がなされている。飯山運動公園に関して事業着手がされた。	平成29年10月頃
	指標3								あり なし		
	指標4								あり なし		
	指標5								あり なし		

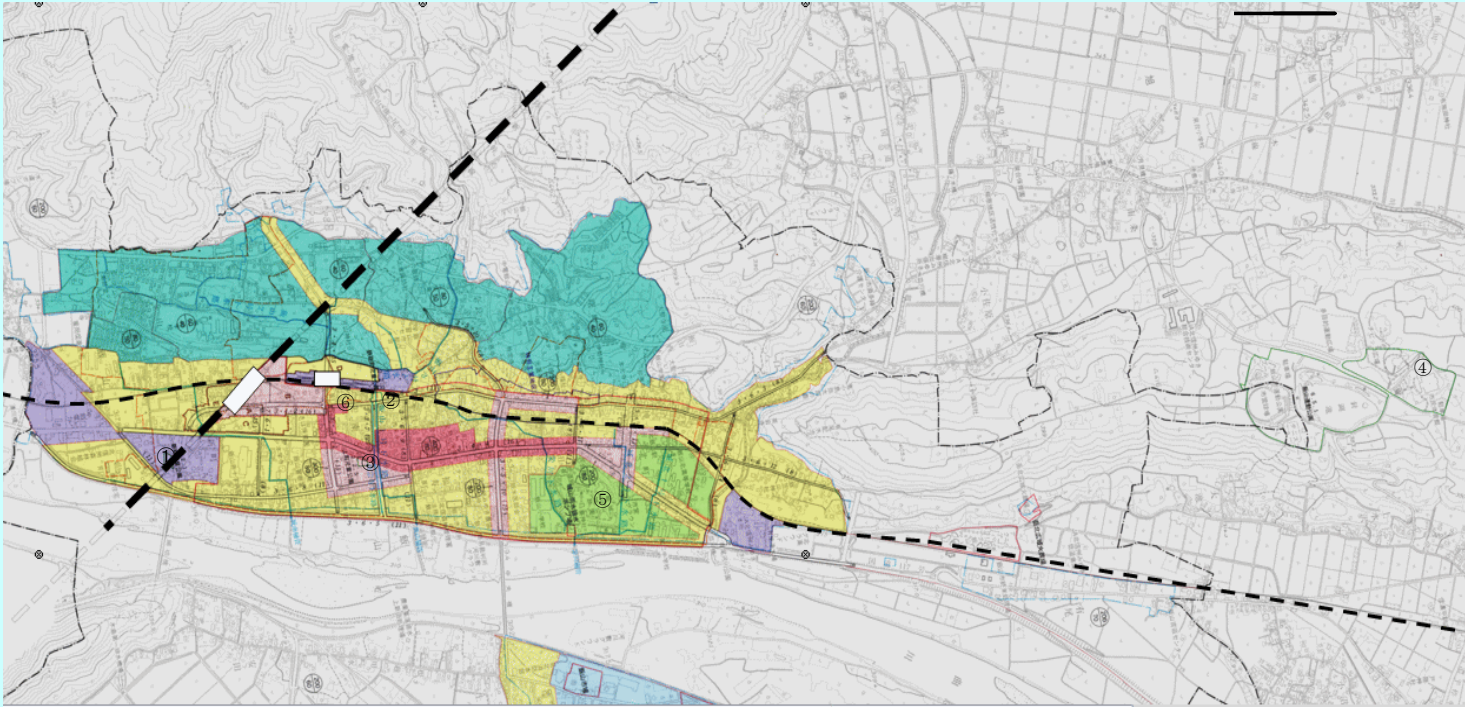
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1		
	その他の数値指標1								
	その他の数値指標2								
その他の数値指標3									

4)定性的な効果発現状況	新町児童公園の再整備にあたっては、検討委員会が発足し東京工業大学真野研究室のサポートを受ける形で3度のワークショップなどで、住民参加型の整備が行われた。また維持管理についても新町区と飯山市による協働の取組が始まった。飯山城址公園の再整備にあたっては、城山公園整備計画策定委員会の検討に基づき都市再生整備計画事業により実施が行われている。その他においても公園施設長寿命化計画策定結果に基づき、都市再生整備計画事業及び都市公園施設整備事業によって事業の着手や計画がなされている。									
--------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった			
	住民参加プロセス	新町児童公園建設検討委員会～新町区	社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった		今後も新町区をはじめ、住民の意見を聞き事業を推進する。また維持管理においてより多くの市民参加が図れるように研究を進め、市民と行政による協働体制を構築する。なお各地区、集落において設置し、管理を行っている公園遊具の安全確保指針の浸透を図る。	
	持続的なまちづくり体制の構築	市民と行政の協働による取組	社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった		今後も市民と行政の協働による魅力ある公園づくりを推進し、持続的なまちづくり体制を作り上げる。	

様式2－2 地区の概要

飯山市都市公園の長寿命化と安全・安心な公園づくりの成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
計画の目標 都市公園の長寿命化計画を策定し、公園施設の老朽化などに起因する事故を未然に防ぐとともに、計画に基づき公園施設の改修等を行い、安全・安心な公園整備を行う。	長寿命化計画策定済みの都市公園数	単位：％	0 H24	100 H25	100 H25	
	長寿命化計画に基づく再整備済み都市公園数	単位：％	0 H24	100 H28	50 H26	
成果目標① 市が管理する全ての都市公園の公園施設長寿命化計画を策定する。 成果目標② 利用者が安全に利用できるよう公園施設の改修を行う。						



長寿命化計画策定事業		
NO	種別	公園名
1	街区公園	新町児童公園
2	街区公園	鉄砲町児童公園
3	街区公園	上町児童公園
4	運動公園	飯山運動公園
5	地区公園	飯山城址公園
6		飯山駅前公園

まちの課題の変化	- 公園施設長寿命化計画が策定されたことにより、既存施設の老朽化が改めて明らかになった。適正な維持管理体制の強化にむけて市民と行政の協働体制の取組も進められるようになっている。 - 公園施設改修事業においては市民のニーズの変化に応じた施設編成が課題となっている。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	- 公園施設の維持管理に関してより多くの市民参加が図れるように研究を進め、市民と行政の協働体制の確立にむけて協議を進める。 - 公園施設の長寿命化に関して劣化や損傷を未然に防止すべき施設を予防保全型施設と位置づけ、保護塗装等の対策をきめ細かく実施する。

社会資本整備総合交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、社会資本整備総合交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 社会資本整備総合交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 社会資本整備総合交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 — 有識者からの意見聴取

添付様式1－① 社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1－② 社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	社会資本総合整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園施設長寿 命化	新町児童公園、鉄砲町児童公園、上町児童公園、飯山運動公園、飯山城址公園、飯山駅前公園	5	公園施設長寿命化計画策定 一式	4	公園施設長寿命化計画策定 一式	入札差金による事業費の減額	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
なし									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

[illegible]

添付様式2－① 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	長寿命化計画策定割合	%	平成25年度末	0	H14	0	H24	100	H25	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	●	100	事後評価	○	
指標2	要再整備公園実施割合	%	平成28年度末	0	H14	0	H24	100	H28	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み	●	50	事後評価	△	
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	飯山市の都市公園全6公園を対象とし、公園施設長寿命化計画策定状況を評価した。	
指標2	整備済、整備中、整備計画のある公園を除き、上町児童公園と飯山運動公園を評価対象とした。また公園の再整備は持続的に行うもので、再整備済の解釈不可能なため着手をもって達成との評価を行った。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、社会資本総合整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	なし							モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、社会資本総合整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし

・本様式は、社会資本総合整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

社会資本総合整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

社会資本総合整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
新町児童公園建設検討委員会～新町区	予定どおり実施した	【実施頻度】ワークショップ 3回 トイレ清掃 草刈り ゴミ拾い ネット着脱 【実施時期】平成23～25年度 【実施結果】住民の意見を聞き公園建設を図ったことにより、事業が円滑に進められ維持管理の協働の取組が始まった。	今後も新町区をはじめ、住民の意見を聞き事業を推進する。また維持管理においてより多くの市民参加が図れるように研究を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

社会資本総合整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
市民と行政の協働による取組	予定どおり実施した	市民による清掃、草刈りなどの維持管理協定締結を図った。	新町区	今後も市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(社会資本整備総合交付金事後評価検討会)	関係各課公園事業関連職員(企画財政課、まちづくり課、学習支援課、スポーツ生涯学習課)	平成26年9月24日	まちづくり課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1							
指 標 名		長寿命化計画策定済みの都市公園数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園施設長寿命化計画策定事業	◎	指標の改善に直接つながる事業である						
提案事業	なし								
関連事業	都市再生整備計画事業	-							
	都市公園施設整備事業	-							

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
-：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	公園施設長寿命化計画に基づく公園整備を推進する。			
-------	--------------------------	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2											
指 標 名		長寿命化計画に基づく再整備 済み都市公園数											
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業	公園施設長寿命化計画策定事業	△	今後公園施設 長寿命化計画 に基づき関連 事業の中で整 備が進められ ている	I									
提案事業	なし												
関連事業	都市再生整備計画事業	△											
	都市公園施設整備事業	△											

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	関連事業を活用して公園整備 を推進する。				
------------------	-------------------------	--	--	--	--

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(社会資本整備総合交付金事後評価検討会)	関係各課公園事業関連職員(企画財政課、まちづくり課、学習支援課、スポーツ生涯学習課)	平成26年9月24日	まちづくり課

添付様式5－② まちの課題の変化

事業前の課題 社会資本総合整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
なし			

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	なし		

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	なし		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4ー②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4ー③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5ー②）を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度							予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	長寿命化計画策定割合	%	0	H24	100	H25	確定 見込み	● 	100 ○	あり なし				
指標2	要再整備公園実施割合	%	0	H24	100	H28	確定 見込み	 ●	50 △	あり なし	●	平成29年10月頃	平成28年度時点の事業調査を行う	
指標3							確定 見込み			あり なし				
指標4							確定 見込み			あり なし				
指標5							確定 見込み			あり なし				
その他の数値指標1							確定 見込み							
その他の数値指標2							確定 見込み							
その他の数値指標3							確定 見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	指標に関して達成されていたり、改善により達成見込みが果たせるようになっている。	・交付期間終了時点での指標を設定する必要がある。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・社会資本総合整備計画の作成時には、事後評価の実施を考慮し、指標を設定する必要がある。
	うまく いかなかった点	交付期間終了年度と目標年度に開きが生じている。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	住民参加型の整備や市民と行政による協働の取組が始まった。	・新町区の取組を参考に他地区に波及させていく。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成26年10月23日～11月6日	平成26年10月23日～11月6日	担当課へのFAX・電子メール・郵送	まちづくり課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及びまちづくり課窓口で原案を公表している旨を掲載	平成26年10月15 日発刊 広報10月号	平成26年10月23日～11月6日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		
住民の意見	意見の申出なし(まちづくり課窓口閲覧者数 3人)				

添付様式8 社会資本整備総合交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	東京工業大学大学院社会理工学研究科 准教授 真野洋介	平成26年12月3日	建設水道部 まちづくり課	飯山市社会資本整備総合交付金評価審査委員会設置要綱	独自設置
その他の委員	飯山商工会議所 専務理事 上野和則 新町区 区長 小池佐市 建築士会飯水支部 支部長 手塚宏之				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	意見なし
	成果の評価	意見なし
	実施過程の評価	住民参加の維持管理において体制が整わず特定の役員が実施している現状である。
	効果発現要因の整理	意見なし
	事後評価原案の公表の妥当性	意見なし
	その他	意見なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当に進められたことが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	維持管理において他地区の好事例を研究して多くの市民を巻き込んだものにしたほうが良い。
	フォローアップ	意見なし
	その他	意見なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であることが確認された。
その他		意見なし

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。